

2019年3月6日
九州電力株式会社

川辺川第一発電所 取水堰（ゴム堰）からの誤放流について

昨日（3月5日）、川辺川第一発電所取水堰（以下、ゴム堰[※]）点検時における不適切な処置により、ゴム堰が倒伏し（しぼみ）、貯留水約26万 m^3 が下流に流出する事象が発生しました。なお、発生後速やかに河川パトロールを実施し、これまでのところ1箇所の河川内工事の浸水が確認されましたが、その他浸水等の被害は確認されておりません。

本件に伴い、ご迷惑をおかけした関係者の皆さまには、深くお詫び申し上げます。

今後は、確実な設備管理の実施に向けた再発防止に努めてまいります。

以上

【事象概要】

1. 場 所 川辺川第一取水堰付近〔熊本県球磨郡五木村甲〕
2. 原 因 点検時におけるブロワ用点検弁の閉め忘れ
3. 堰放流量 約26万 m^3 （推定）
4. 影 響 堰下流域における河川水量の増加
5. 設備概要

〔ゴム堰の概要〕

- ・種 類：ゴム引布^{ひきぬの}製起伏堰
- ・延 長：72.500m（排砂門1門、ゴム堰2門）
- ・高 さ：ゴム堰 高さ=5.8m×2門
- ・設置時期：平成24年6月

〔発電所の概要〕

- ・最大出力：2,600kW
- ・運転開始：昭和12年7月5日

※ ゴム引布製の筒に空気を充填することで、川の水をせき止めるもの

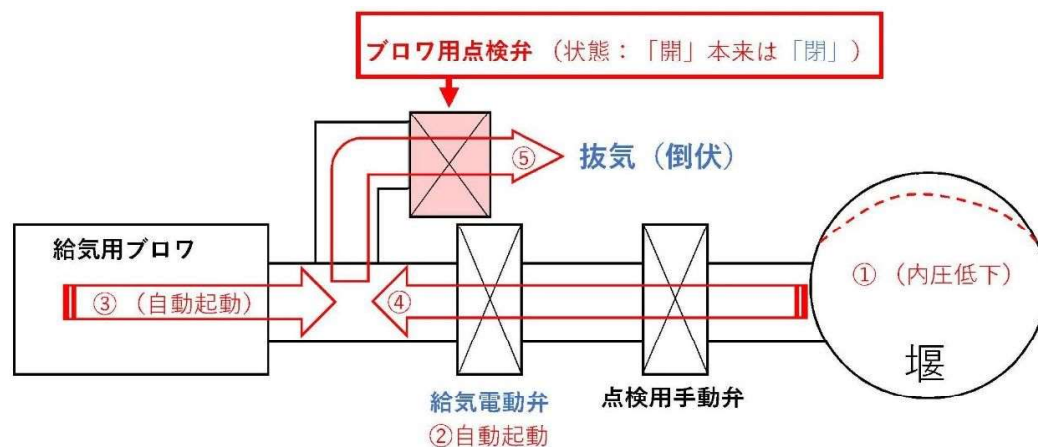


<通常時のゴム堰の様子>

【 経 緯 】

- 3/5 (火) 8:15～ ゴム堰機器点検現地対応
8:55～ ブロワ用点検弁「閉」→「開」操作実施
17:00 当日の点検作業終了、退場（ブロワ用点検弁「開」のまま）
22:01 ゴム堰の内圧計下限アラーム発生（ダム管理室で確認）
22:01 ゴム堰（2門）の倒伏開始を確認（同上：監視カメラ）
22:34 ゴム堰（2門）の倒伏を確認（この間に関係箇所への通知、サイレン吹鳴、河川パトロール実施（夜間：1回目時、河川工事現場に一部浸水状況あり）
- 3/6 (水) 7:30 河川パトロール開始（翌朝：2回目）
8:23 河川パトロール終了（上記工事個所以外異常なし）

【 事象状況 】 ①→②→③→④→⑤の順に動作



【 再発防止 】

- ・ 検討中